

カトリック 高松教区報

2005年7月3日(第107号)

発行所 カトリック高松司教区

広報委員会

〒760-0074

高松市桜町1-8-9

TEL 087-831-6659

FAX 087-833-1484

Email tkcuria@mxi.netwave.or.jp



聖体の年にちなんで

高松教区長 溝部 脩

聖体の年にちなんで主日のミサということを考えてみましょう。聖体とミサは分けて考えることはできません。ミサの中に聖体があり、ミサを通さなければ聖体の意味が分からないからです。それにはまずミサの意味を分かることから始めないといけません。

ミサとは何でしょう。ミサはいけにえです。イエス様は十字架上でご自分を父なる神様に捧げます。全ての人の願いを携えて父なる神にご自分を捧げます。イエス様は人々のために捧げられたいけにえだからです。父なる神様は、イエス様が十字架上でご自分の全てを捧げているのをご覧になって、人々の願いを聞いてくださいます。この世界にある多くの悲惨と苦悩をいやしてくれるのはイエス様だけな

のです。ミサを通して、全世界の悲惨と苦悩がいやされていくのです。ミサの大切さというのは「人々のために」あるということをまず考えさせてくれます。

ところが、ミサの中で私たちもいけにえとなって、自分を捧げるのです。イエス様といっしょに私たちもミサを捧げています。私たちも人々の願いを携えて、イエス様と一緒に十字架上で自分を捧げるいけにえなのです。父なる神さまは、私たちの願いをも聞き入れて、人々に必要な恵みを施します。こうして、ミサの特徴は「人々のためにある」ということがお分かりになるでしょう。私たちがどうしてミサを大事にするかがこれで分かってきます。私たちのミサは全世界の苦悩と悲惨をいやすための

ものなのです。心地よい気分に入るためにミサがあるのでなく、また自分たちの仲間内の楽しみのためでもなく、ましてや義務だからミサに与るのもありません。ミサに与る度に「人々のために」捧げるという行為をしないとけません。

こうして毎日のミサを通して世界に救いが実現します。私たちは少数者ですが、イエス様と一緒に捧げるミサを通して、世界に新しいいのちを生み出していくという大事な役割が与えられているのです。繰り返します。ミサは人々のために捧げられるものです。もし私たちが自分の楽しみのために、自分が清しい気持ちになるためだけにしたら、余り意味がありません。イエス様と一緒に人のために生きることを約束することがミサだからです。

ミサは毎日ありますが、特に教会が大切にしているのは主日のミサです。それは教会が心を一つにして、小教区共同体とし

はばたき

緑色の海と島々が広がる来島海峡・キリシタン時代、この海を往還したであろう宣教師たちをいつも思う。深い信仰心と宣教への熱い使命感で目を輝かせた彼らに現実には厳しかった。航海中、人々は異様な風体の彼らを邪魔者扱いし、天候不順を彼らのせいにして小さな港に置き去りにもした。そんな過酷な中でさえ彼らは人々にみこばを述べ伝え洗礼を授けた。四国初のキリシタンの誕生だった。私たちは彼らの熱い思いを忘れてはならない。そんな宣教師たちがいたと言うことを考えることが、これから「一致」を目指して船出する私たちの心の支えになると思うからだ。「前進するより他に一致の道は開けません」という溝部司教様の初の司教教書が発表された。『過去のことにとどまることのないように』が一つのポイントだろう。溝部司教様を船頭として、新しい船を漕ぎ出そうではないか。心を一つにして……



6月5日「教区子どもの集い」のミサ

て、人々のためにミサを捧げるからで
す。そこで大切なのは、主日のミサの
意味を勉強することです。余りにも習
慣的に行っていないか、反省する余地
がないでしょうか。その意味が分かる
には読書、聖歌、典礼行為、これらを
しっかりと準備することです。教会は
何よりも主日のミサに全力を投球する
ことを命じています。典礼委員会は名
前だけのものではあってはいけません。
典礼とは何かをまず勉強しないといけ
ません。どのように会衆が祈ることが
できるか、どのように朗読を理解でき
るか、奉仕する役割が典礼委員です。
聖歌隊も同じです。典礼にあわせて、
また会衆に合わせて、どの歌を選ぶか、

聖歌の歌い方はどうあるべきか、少し
勉強する必要があります。教会は主日
のミサにいのちをかけているからです。
紙数に限りがあり、一度に全てを述
べることができません。別の機会を設
けて少しずつ典礼の大切さをお伝えし
たいと思っています。

新司祭ルイジ・シメオニ神父 の抱負



私はルイ
ジです。四
人兄弟で末
子です。三
二歳です。
一九九六年

一月二五日に日本に来て、この日は
記念として心に残っています。今度の
叙階式の時に私が私の人生に行った業
のために心からの感謝を表したい。私
はイタリアの北東地方の小さな村に生
まれ育てられて、高校を卒業した後働
き始めましたが、人生の展開をはつき
り見えなかった時期があったし、私の
上に神様の御心が何であったか分から

なかった。またそれを探し出そうとし
なかった。その時私が求めていたこと
は普通に若者に与えられるこの世の幸
せ、つまり苦みとむなしさしかもたら
さない幸せ。しかし神様がしつこく福
音を述べ伝えてくれたある人を通して
私を捜してくださった。その福音とは
神様が罪人の私をそのまま愛してくだ
さり、いつも赦してくださると言う言
葉で、それによって私の人生が変わり
ました。又、私は日本についてほとん
ど何も知らなかったので、やはり日本
に来るのは神様の導きによるとしか言
えないのです。神学校時代はすばらし
い思い出になりました。そして忍耐を
持つて私を指導して信仰を深めるのに
助けてくださった神学校の養成者に感
謝したい。なお今までの私の人生の中
でもう一つの大事な経験はオーストラ
リアに宣教師として二年間送られたこ
と。その時人々の心を変える力ある神
様の言葉を体験しました。又、二〇〇
四年二月八日溝部司教による高松司
教座聖堂で助祭叙階式を受けてこれも
神様の恵みでした。今は世界中に大き
な変化が起こっています。選ばれたば
かり教皇ベネディクトー六世に心の一
致があることを感じます。この教皇様

も前任者とおなじく宣教活動に力を入
れています。人間の心を満たすことが
できることが、キリストだけですから
の人は彼と出会う必要があるからです。
神様が私を日本で教会に奉仕するよう
にここまで導かれました。謙遜な心を
持つてすべての人に心より貢献するこ
とが出来よう、神様のみ旨にいつも
従いたい心を私に与えられますように
皆さんの祈りをお願いします。

ルイジ・シメオニ

新教区司祭誕生

六月二日、ルイジ司祭が誕生した。
故郷イタリアからは、ご尊父様をはじ
め三名、国内からは司教、司祭、修
道者、信徒四〇〇名を超す方々が神様
のお恵みに感謝し、お祝いするために
集まり、決して広くない司教座聖堂は
満杯になった。教区長溝部司教様にとつ
ては、はじめての司祭叙階であり、訓
話では「聖霊による一致」を目指す高
松教区づくりの強力なメンバーとなる
べく、本物の従順を力説された。これ
から、とくに高松教区民の祈りに支え

られて、神の代理者としての若者の挑戦が始まる。

浜口末雄神父記



司教の按手(叙階式)

ルイジ神父は、四国カトリック会館の管理者兼司教秘書として、司教館(カトリック会館)で勤務します。

青少年委員会報告

現在、私たちの一番の動きはケルン大会に行くための準備です。

1 ケルン大会のための最初の準備会が四月九、一〇日松山の中島で行われました。三十数名が集まり、ケルンに行くために私からの説明や前の大会に参加した方の体験を聞いて準備をしました。ケルン大会の時の力テケージスの準備と、また日本の文化の紹介のため阿波踊りの練習をしました。

2 二回目は五月一四、一五日にわたって高知市中島町教会で行われ、五〇名以上の参加者があり、盛り上がり

ました。一四日は司教様が主にカテケージスのことに力を入れて、祈りも含め二時間行われました。夕食の後、阿波踊りの練習と私からの説明



中島町教会での準備会

をしました。一五日は三人の堅信式が行われたことが最も印象に残る集まりに

なりました。次の集まりは七月の予定です。

中島町教会 ジュード神父

高松教区司牧評議会設立に向けて

去る五月七日、教区信徒協の今年度第三回役員会が開かれました。詳細はいつもの通り、小教区に送られる議事録を参照して頂くことにしますが、今回の役員会は、司牧評議会の骨子が大

体決定したことです。今日は、司牧評議会の構成メンバーをお知らせします。それは、

司教、司教総代理、教区事務局長、教区会計、修道女連盟代表二名、信徒代表八名(各県二名)、司教の指名する者若干名

です。

発足は今年度末か、来年早々になる見込みで、それに伴って教区信徒協は解散されることとなります。

なお、今年度の信徒協の事業と協力事業は滞りなく実施されます。それは、

七月九日、一〇日

教区女性研修会(高松)

八月二七日、二八日

教区学校教師研修会(香川)

九月三日、四日

教区信徒研修会(高知)

九月一九日

二〇〇五高松教区民のつどい(松山)

などです。教区信徒協最後の行事となりますので、担当者一同張り切って準備を進めています。皆様方のお祈りと御協力をお願いします。

教区信徒協会長 田井貞良

高松教区子ども集い報告

「いのちのパン」として食べなさい」をテーマとして、六月四、五日に「高松教区こども集い」が開催されました。一三の小教区より、小中学生約六〇名、高校・大学・教会学校のリーダー約二〇名、サポーターの信徒約二〇名の計一〇〇名がさぬき市長尾の聖母幼稚園に集まりました。

「食べる事」をポイントに、初日はまず体の糧であるカレーライス作りを各班に分かれて行いました。じやがいも、にんじんの形がそれぞれ違うなど五つ(班)の味のカレーライスがおいしく出来上がり、子どもたちはたくさんお代わりをしていました。

夕食後、心の糧である御聖体についてのカテケージスが行われました。この日のために準備をしてくださったサレ



辻家神父様のカテケージス

ジオ修道会の辻家神父様、宮崎カリタス修道女会のシスター下崎の指導のもと、

また、教会学校のリーダーによる聖劇を交えるなど、子どもたちは御聖体について理解を深めることができました。引き続き司教様の司式のもと、聖体顕示式、キャンドルサービス、聖体賛美の厳肅な雰囲気の中で聖体の礼拝が行われました。

翌五日は、感謝の祭儀で始まり「ミサはいけにえです。自分を与えることです。今日このミサ(集い)を終えて帰るとき、自分のことばかり考えないで、他の人のことを考えられる子どもになりましょう。」と司教様のお話がありました。

「カレライス おいしかった!」
 「新しいお友達ができてよかった!」
 「ご聖体のことがよく分かった!」
 「早く私もご聖体をいただきたい!」
 プログラム最後の分かち合いでの子ども達の言葉です。子ども達の喜ぶ姿がみられ、多くの人たちに支えられて、この集いを行うことができとても感謝しています。

番町教会 河合良治

一口メモ
 カテケージス「要理教育」。
 児童、青年、大人への信仰教育一般を指す。

各地区だより

巡礼の恵み

二〇〇五年四月二日、午後九時五十分(日本時間三日午前四時五十分)、第二六四代教皇ヨハネ・パウロ二世御逝去の時、私はローマの地にいました。「ペトロ・カスイ岐部神父の足跡と列福を求める巡礼」団の一員として。

溝部司教様を団長とするこの巡礼は、岐部神父を含む一八八人の日本の殉教者の列福を教皇庁列聖省にお願いに行くこと、そして岐部神父のローマ・ポルトガルでの足跡を辿ることを目的としていました。

私は、昨年愛媛松山教会で開催された信徒研修会での溝部司教様の講話のなかで紹介された岐部神父の生き方に深い感銘を受けていましたので、この



今泉さん
 バックはサンピエトロ寺院

巡礼があることを知った時、何も考えずにすぐに申し込んでいました。岐部神父の、前に前に、つまり天国へ天国へと突き進んでいこうとする生き方に、少しでも触れることが出来ればと願ったからです。

ローマに着いたその夜、ホテルのテラスで遠くから聞こえるサンピエトロ寺院の鐘の音を聞きました。その直後テレビは教皇ヨハネ・パウロ二世の死を伝え、広場に集まった一〇万とか二〇万の人々が映し出されていました。

その人々の中の一角から拍手で教皇様の死にむくいている人々が映し出されましたが、教皇様の天国への凱旋を信じ喜んでる姿はとてもきれいでした。

教皇庁列聖省でお話をお聞きしたなかで、列福されるのは、まず司教がその人の列福を願うこと、その人の聖性を認めること、などいろいろ条件があります。それを決めるのは、人々の声、「この人は聖人だった」という声が大切ですということでした。その意味では亡くなられた教皇ヨハネ・パウロ二世は聖人に近い人だと多くの人が思っているのではないのでしょうか。岐部神父とおなじように、前に前に進んだ教皇様の一生は、ある意味では現代の殉教のようにも思えました。

代の殉教のようにも思えました。

私たち巡礼団はヨハネ・パウロ二世のご遺体が聖ペトロ大聖堂に移される日の朝、聖ペトロと歴代の教皇様が埋葬されている地下聖堂で溝部司教様司式のミサに与ることが出来ました。一生忘れることの出来ない大きなお恵みでした。

亡くなられた教皇様を慕い二〇万人の人で埋め尽くされている聖ペトロ広場で今から三三三年前の一六二二年に聖フランシスコ・ザビエルと聖イグナチオ・ロヨラの列聖式が行われ、そこに岐部神父が参列したのであるという溝部司教様のお話は、神様の大きな計画を私に悟らせてくださいました。

終わりに、巡礼に仙台、東京、九州、などから参加した皆さんが、高松教区のために沢山のお祈りをしてくださっていることを、みなさんにお伝えし、全てのものへの感謝の気持ちにかえさせていたきたいとおもいます。

郡中教会 今泉洋子

乙女峠まつり

五月晴れに恵まれたGWの半ば、三名の巡礼団が大型バスに乗って高松



津和野教会からの行列

と光と幕
屋をイ
ジして設
計したも
のだそ
です。青
を基調と
したステ

訪れました。山口県ではザビエルでは
なくザビエルで名が通っているようで、
一階がギリシヤの遺物や絵画、彫刻
等を集めた博物館になっており、二階
が聖堂になっていました。それは独特
の雰囲気のある聖堂で、修道者達が水

から山口県の津和野へ巡礼に出かけま
した。片道五時間位の旅でしたが、バ
スの中でも隣り合わせたホルへ神父様
のカテケージスやバスガイドさんの説
明を聞きながら新鮮味のある旅となり
ました。このカテケージスによって新
求道共同体の靈性を幾分か察すること
ができたように思います。哲学や神学
によらず、よみがえったキリストとの
出会いによって心が変わっていくとい
う生身の体験から信仰を培って行こう
とする道のように思えました。

司教日程

- 7月2日(土) 信徒協役員会
- 3日(日) 桜町教会50周年式典
- 7日(木) 常任司教委員会、WYD集会(東京)
- 9日(土) ~ 10日(日)
教区女性研修会(高松)
- 12日(火) 司祭評議会
- 17日(日) 八幡浜教会
- 24日(日) 徳島ファミリーデー参加
- 25日(月) 大阪管区代表者会議
- 31日(日) 西条教会
- 8月1日(月) ~ 2日(火)
聖ヨゼフ会幼稚園研修会
- 5日(金) 広島平和ミサ参加
- 19日(木) ~ 26日(金)
ケルン世界青年大会参加
- 28日(日) ~ 31日(水)
教区司祭黙想会
- 9月3日(土) ~ 4日(日)
高松教区信徒研修会(高知)
- 8日(木) 常任司教委員会
- 11日(日) 新居浜教会
- 13日(火) 司祭評議会
- 19日(月) 2005高松教区民のつどい
- 23日(金) ~ 25日(日)
新潟教区教区大会
- 28日(水) 全国カトリック老人ホーム
研修会



ンドグラスに手や星や自然、優しく見
つめる神様の目、十字架の血などがシ
ンボリックに描かれていました。博物
館には聖パウロ三木の胸像や踏み絵な
どが展示されていて興味深かったです。
夜は、湯田温泉に宿をとり、おしい
料理と楽しい催しでくつろぎました。
食事の後もザビエルビールを飲みなが
ら松永神父様、ホルへ神父様、田井会
長、多田さん、山下さんなど大勢で分
かち合いました。ガス抜きという方も

いましたが、日頃から高松教区につい
て感じていることを素直に聞き合い、
互いの理解と一致の絆を深めるもの
になったと思います。そしてロザリオを
唱えて締めくくるといいう高尚なガス抜
きになりました。
二日目は乙女峠祭りに参加しました。
津和野教会から行列を組み、ロザリオ
を唱えながら歩き、野外ミサに与りま
した。溝部司教様の司式で殉教者の生
きた時代背景に触れ、巧みな説教で明

治維新の頃にタイムスリップしたよう
な気になり、殉教者の歴史認識を深め
ることができました。
初めての巡礼でしたが実り多いもの
となりました。ありがとうございました。

徳島教会 松田栄作

この巡礼は桜町教会創立五〇
周年記念行事の一つとして、
同教会が主催したものです。

各県コナリ

徳島県の巻



1982年ご復活祭に

その多
くがキ
リスト
教国で
あるこ
とが、

ヨハネ・パウロ二世教皇への追悼
「戦争は人間のしわざです。戦
争は人間の生命の破壊です。戦
争は死です。」
戦争の悲惨さを憂い、涙を流さ
れ祈るパパ様のお姿がテレビ画面
に映し出された。まさにカルワリ
オの丘で祈るキリストの祈りと重
なった。核拡散防止のために、国
益に不利になる敵対国を制裁し、
経済侵略を正当化、またその精神
性の裏づけに宗教が後押しをして

私には理解しがたい。そんな当事
国の指導者たちに臆することなく、
平和の尊さを訴え続けた。パパ様
は無力感に支配されることなく、
祈りと行いをもって、平和の完成
に燃え尽きた。

「人類は自滅すべく定められて
いるものではありません。」

パパ様の最後の言葉は復活祭の
謁見に訪れた多くの若者に対し

「私はあなたたちのためにここ
にいます。」

と、未来を担う若者に平和の完成
を託し、祝福した。戦争は若者の
生命の破壊である。アジアの果て
日本から巡礼に訪れた私たちを最
前列に招き、謁見させていただ
いたときも、パパ様の頭がたれて
いたのが印象的だった。(マザーテ
レサも同じく頭をたれていた。)

「暗闇と死の陰に座している者

たちを照らし、我らの歩みを平
和の道に導く。」

(ルカ1・79)

鳴門教会聖体奉仕者 林 広

沖に漕ぎ出そう！ケルンへ向けて

八月、ドイツで開催されるワー
ルトコト



お昼のガーデンパーティ

スデー
(WY
D)に
向けて
大会に
参加す
る青年

もしない青年も共に準備をして行
こうとの趣旨で、その第一回目を
愛媛県の中島ドミニカンハウスで、
そして第二回目の合宿を五月一四
日(土)一五日(日)高知中島町
教会において行いました。溝部司
教様を中心に四〇名程の青年とア
シスタントが集合しました。この
うち約三〇名がケルンへ行きます。
WYDのプログラムの中核をな
すのは、最後の五日間において司

教によるカテケージス・ゆるしの
秘跡を経て十字架の道行き、徒歩
巡礼、世界中からの友と共に野宿
し、教皇司式ミサで締めくくると
いう聖週間の典礼をモデルにした
ものです。今回は、その呼び水と
なるカテケージスに与らせて頂き
ました。司教様が青年たちに問い
かけます。「どうして今、ここに
いるのか?」「何のために洗礼を
受けたのか?」「青年たちがこたえ
ます。こどもの頃を振り返り、或
は内なる自分に聴きながら・・・
司教様の言葉は聖霊の風となり、
青年たちの心を揺さぶります。地
上のもばかりに目を奪われがち
な現代社会の中で、ふと天を仰い
だ時、私たちが照らす天上の光に
気づき、胸の高鳴りを覚えること
があります。東方の賢者たちが星
に導かれて旅したように、わが教
区の青年たちもケルンへのイエス
との出会いの旅に出発します。

ケルンへ持っていくおみやげの
一つに阿波踊りがあります。居残
り組の私も、心はケルンとばかり

に正統派阿波踊りを皆に覚えてもらうべく協力しています。

なぞのスリランカ人ジュード神父とダンス好きのニカラグア人ホルヘ神父が同行する巡礼の旅は、アドベンチャーに富んだ、喜びいっぱい楽しいものになるに違いありません。

参加する皆さん、高松教区へたくさんのおみやげを持って帰ってきてくださいね。希望いっぱい待っています。

青少年委員会アシスタント

徳島教会 山口文字

ヨハネ・パウロ二世教皇様の思い出
一九八三〜八四年私はイタリア政府から奨学金をいただいて、国費留学をしておりますが、一人の日本人のお嬢さんを、洗礼に導くお手伝いをさせていただくことになりました。そして、八四年の復活祭にヴァチカン広場の真夜中のミサで、教皇様から直接洗礼を授けていただくという、夢のようなお話が実現することになりました



バチカン広場の洗礼式

た。私
は、代
母とし
てその
準備を
させて
いただ
いたの

です。誰しも、それほど簡単に教皇様から直接洗礼をいただくなどということができないことを、知れば知るほど震えるような恐れと感動を味わったことは昨日のように思い出されます。そして、それはいうまでもなく、私の人生でも、特別な特別な出来事として一生の宝となりました。ところが、そのことが縁で教皇様とは、その後、何度もお引き合わせいただき、額に祝福をいただいたり、メキシコからお持ち帰りのソンプレロを被らせていただいたり、最後に、日本に帰るときは、私の霊名である聖女クララの様の御遺物をいただくなど、身にあまるお恵みを頂くことになりました。それは、教皇様

から特別愛されておりました、西山神父様のお取り計らいでもあつたかと思えます。でも、あるとき、沢山の巡礼者や時には南米からはるばるヴァチカンに巡礼にこられた、宣教司祭様たちが一生懸命手を差し伸べていらつしやるのを見たとき、私だけが特別な個人的に直接握手をしていただき、祝福をいただくことができるなんてと、申し訳ないと思つたこともございまして。でも、それは徴税人マテオが召し出しを受けたとき、「なぜ私が」と思つたように、神様は貧しい私を選びになつたのだと思ひました。あの教皇様のお優しいみ手の感触は、決して忘れることはできません。そして、今私にできることは、大学生を前にして、教皇様もつとも深く願つておられた平和と命の大切さを、日本の若者に伝える使命を託されたことなのではないかと、思いを新たにしているところです。

今、教皇様は、私たちのもつともつとお近くにいらつしやるように思います。教皇様、ありがとうございました。そして、どうぞ世界の人々を、また、日本の人々を守り、お導きください。

徳島教会 酒井ツギ子

シルバー神父様

徳島県から表彰される

阿南教会主任司祭シルバー神父様は、長年、私立幼稚園の園長、また、学園理事長を務めてこられました。その功績が認められ、公共の教育の増進に尽くした功労者として、徳島県から表彰されました。表彰式は各分野で功績のあった四三名とともに、六月三日(金)午後一時半から県庁で行なわれました。



資金収支計算書 1

宗教法人 カトリック高松司教区
 教区本部会計(基金、事務、指定)

自 2004年 1月 1日
 至 2004年12月31日

| 経常支出の部 | | | | 経常収入の部 | | | |
|--------|-------------|------------|----|--------|-------------|------------|----|
| コード | 科目名 | 金額 | 備考 | コード | 科目名 | 金額 | 備考 |
| | 宗教活動支出 | 36,237,578 | | | 宗教活動収入 | 66,120,369 | |
| | 宗教活動費 | 4,697,210 | | | 献金収入 | 28,582,417 | |
| 831 | 祭議費 | 0 | | 612-1 | 月定献金収入 | 0 | |
| 832 | 行事費 | 4,373,780 | | 612-2 | ミサ献金収入 | 0 | |
| 833 | 布教教化費 | 0 | | 612-3 | 特別献金収入 | 0 | |
| 834 | 教育養成費 | 18,450 | | 612-4 | 特別事業献金収入 | 12,176,364 | |
| 835 | 諸会費 | 6,000 | | 612-5 | 臨時献金収入 | 0 | |
| 836 | 図書資料費 | 0 | | 612-6 | 祭儀収入 | 0 | |
| 837 | 出版刊行費 | 0 | | 612-7 | 教区維持献金収入 | 0 | |
| 838 | 教区維持費 | 0 | | 612-8 | 本部費 | 15,956,053 | |
| 841 | 諸活動費 | 298,980 | | 612-9 | 墓地等使用料収入 | 450,000 | |
| 842 | 一般・特別寄付金 | 0 | | | | | |
| | 指定献金支出 | 6,136,265 | | | 指定献金収入 | 7,379,338 | |
| 843-1 | 児童福祉献金 | 1,771,814 | | 613-1 | 児童福祉献金 | 1,570,082 | |
| 843-2 | 広報の日献金 | 405,736 | | 613-2 | 広報の日献金 | 358,246 | |
| 843-3 | 世界難民移住移動者の日 | 399,481 | | 613-3 | 世界難民移住移動者の日 | 380,432 | |
| 843-4 | 世界宣教の日献金 | 488,376 | | 613-4 | 世界宣教の日献金 | 431,706 | |
| 843-5 | 宣教地司祭育成献金 | 814,053 | | 613-5 | 宣教地司祭育成献金 | 422,574 | |
| 843-6 | 聖ベトロ聖座献金 | 522,458 | | 613-6 | 聖ベトロ聖座献金 | 393,191 | |
| 843-7 | 愛の運動献金 | 827,343 | | 613-7 | 愛の運動献金 | 843,070 | |
| 843-8 | 一粒会献金 | 542,000 | | 613-8 | 一粒会献金 | 2,692,591 | |
| 843-9 | 聖地献金 | 331,004 | | 613-9 | 聖地献金 | 223,446 | |
| 843-10 | 教区の日献金 | 34,000 | | 613-10 | 教区の日献金 | 64,000 | |
| | 維持管理費 | 2,144,133 | | 613-11 | 墓地管理収入 | 128,000 | |
| 844 | 施設設備修繕費 | 1,816,968 | | | 寄付金収入 | 16,132,049 | |
| 845 | 備品修繕費 | 0 | | | 特別寄付金収入 | 0 | |
| 846 | 墓地管理費 | 40,175 | | 614-1 | 特別寄付金収入 | 0 | |
| 847 | 火災保険料 | 286,990 | | 614-2 | 一般寄付金収入 | 10,375,639 | |
| | 人件費 | 6,877,861 | | 614-3 | 司祭寄付金収入 | 5,756,410 | |
| 848 | 司祭給与 | 3,977,500 | | | 補助金収入 | 0 | |
| 849 | 職員給与 | 2,329,948 | | 614-5 | 教区本部補助金 | 0 | |
| 851 | 法定福利費 | 520,623 | | 614-6 | その他の補助金 | 0 | |
| 852 | 退職金 | 0 | | | 分担金収入 | 13,898,565 | |
| 853 | 福利厚生費 | 49,790 | | 614-7 | 分担金収入 | 13,898,565 | |
| | 事務運営費 | 16,382,109 | | | | | |
| 854 | 消耗品費 | 1,236,010 | | | | | |
| 855 | 消耗備品費 | 343,950 | | | | | |
| 856 | 通信費 | 1,237,659 | | | | | |
| 857 | 渉外費 | 3,027,087 | | | | | |
| 858 | 旅費交通費 | 1,400,244 | | | | | |
| 859 | 水道光熱費 | 3,851,687 | | | | | |
| 861 | 租税公課 | 1,478,700 | | | | | |
| 862 | 支払手数料 | 584,922 | | | | | |
| 863 | 自動車諸費 | 1,074,913 | | | | | |
| 864 | 会議費 | 402,734 | | | | | |
| 865 | 貸借料 | 567,000 | | | | | |
| 869 | 雑費 | 1,177,203 | | | | | |
| | 事業支出 | 0 | | | 事業収入 | 131,650 | |
| 712-1 | 駐車場事業支出 | 0 | | 615-1 | 駐車場事業収入 | 0 | |
| 712-2 | 施設設備利用支出 | 0 | | 615-2 | 施設設備利用収入 | 131,650 | |
| 712-3 | 宗教用品仕入支出 | 0 | | 615-3 | 宗教用品売上収入 | 0 | |
| | その他の支出 | 5,711,065 | | | その他の収入 | 3,120,092 | |
| 921 | 支払利息 | 0 | | 911 | 受取利息 | 430,568 | |
| 922 | 雑支出 | 453,428 | | 912 | 受取配当金 | 0 | |
| 923 | 補助金支出 | 150,000 | | 913 | 電話使用料収入 | 0 | |
| 924 | 分担金支出 | 5,107,637 | | 914 | 雑収入 | 2,689,524 | |
| 925 | 司教館建設資金献金支出 | 0 | | 915 | 司教館建設資金献金収入 | 0 | |
| | 経常支出合計 | 41,948,643 | B | | 経常収入合計 | 69,372,111 | A |

| | | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| | 固定資産取得支出 | 19,558,665 | | 固定資産売却収入 | 0 |
| 941-1 | 土地取得支出 | 0 | 931-1 | 土地売却収入 | 0 |
| 941-2 | 建物取得支出 | 18,816,000 | 931-2 | 建物売却収入 | 0 |
| 941-3 | 建物付属設備取得 | 742,665 | 931-3 | 建物付属設備売却 | 0 |
| 941-4 | 構築物取得支出 | 0 | 931-4 | 構築物売却収入 | 0 |
| 941-5 | 車両運搬具取得支出 | 0 | 931-5 | 車両運搬具売却収入 | 0 |
| 941-6 | 器具備品取得支出 | 0 | 931-6 | 器具備品売却収入 | 0 |
| 941-7 | 祭儀備品取得支出 | 0 | 931-7 | 祭儀備品売却収入 | 0 |
| 941-8 | 電話加入権取得支出 | 0 | 931-8 | 電話加入権売却収入 | 0 |
| 942 | 特定預金積立金支出 | 10,836,630 | 932 | 特定預金取崩収入 | 0 |
| | その他の支出 | 15,879,303 | | その他の収入 | 10,607,605 |
| 943-1 | 借入金返済支出 | 3,154,466 | 933-1 | 借入金収入 | 0 |
| 943-2 | 貸付金支出 | 6,000,000 | 933-2 | 貸付金回収収入 | 2,500,000 |
| 943-3 | 預り金支出 | 6,521,276 | 933-3 | 預り金収入 | 6,844,385 |
| 943-4 | 立替金支出 | 203,561 | 933-4 | 立替金回収収入 | 1,263,220 |
| 943-5 | 仮受金支出 | 0 | 933-5 | 仮受金収入 | 0 |
| 943-6 | 仮払金(前払費用)支出 | 0 | 933-6 | 仮払金(前払費用)収入 | 0 |
| 943-7 | 雑損失 | 0 | | | |
| 944 | 特別補助金支出 | 0 | 934 | 特別補助金収入 | 0 |
| | 財務支出合計 D | 46,274,598 | | 財務収入合計 C | 10,607,605 |
| | 支出合計 F=B+D | 88,223,241 | | 収入合計 E=A+C | 79,979,716 |
| 442 | *次期繰越金 H | 48,267,838 | 451 | 前期繰越金 G | 56,511,363 |
| | 合計 F+H | 136,491,079 | | 合計 E+G | 136,491,079 |

資金収支計算書 2

宗教法人 カトリック高松司教区
国際宣教神学校 合計

自 2004年 1月 1日
至 2004年12月31日

| 経常支出の部 | | | 経常収入の部 | | | | |
|--------|-------------|------------|--------|--------|-------------|------------|----|
| コード | 科目名 | 金額 | 備考 | コード | 科目名 | 金額 | 備考 |
| | 宗教活動支出 | 42,068,324 | | | 宗教活動収入 | 36,682,998 | |
| | 宗教活動費 | 5,138,667 | | | 献金収入 | 0 | |
| 831 | 祭儀費 | 614,236 | | 612-1 | 月定献金収入 | | |
| 832 | 行事費 | 82,360 | | 612-2 | ミサ献金収入 | | |
| 833 | 布教教化費 | | | 612-3 | 特別献金収入 | | |
| 834 | 教育養成費 | 3,893,502 | | 612-4 | 特別事業献金収入 | | |
| 835 | 諸会費 | 3,000 | | 612-5 | 臨時献金収入 | | |
| 836 | 図書資料費 | 153,069 | | 612-6 | 祭儀収入 | | |
| 837 | 出版刊行費 | 352,970 | | 612-7 | 教区維持献金収入 | | |
| 838 | 教区維持費 | | | 612-8 | 本部費 | | |
| 841 | 諸活動費 | 19,530 | | 612-9 | 墓地等使用料収入 | | |
| 842 | 一般・特別寄付金 | 20,000 | | | | | |
| | 指定献金支出 | 0 | | | 指定献金収入 | 0 | |
| 843-1 | 児童福祉の日 | | | 613-1 | 児童福祉の日 | | |
| 843-2 | 世界広報の日献金 | | | 613-2 | 世界広報の日献金 | | |
| 843-3 | 世界難民移住移動者の日 | | | 613-3 | 世界難民移住移動者の日 | | |
| 843-4 | 世界宣教の日献金 | | | 613-4 | 世界宣教の日献金 | | |
| 843-5 | 宣教地司祭育成献金 | | | 613-5 | 宣教地司祭育成献金 | | |
| 843-6 | 聖ペトロ使徒座献金 | | | 613-6 | 聖ペトロ使徒座献金 | | |
| 843-7 | 愛の運動献金 | | | 613-7 | 愛の運動献金 | | |
| 843-8 | 一粒会献金 | | | 613-8 | 一粒会献金 | | |
| 843-9 | 聖地献金 | | | 613-9 | 聖地献金 | | |
| 843-10 | 教区の日献金 | | | 613-10 | 教区の日献金 | | |
| | 維持管理費 | 5,180,121 | | 613-11 | 墓地管理収入 | | |
| 844 | 施設設備修繕費 | 5,100,851 | | | 寄付金収入 | 29,031,276 | |
| 845 | 備品修繕費 | 0 | | 614-1 | 特別寄付金収入 | | |
| 846 | 墓地管理費 | | | 614-2 | 一般寄付金収入 | 28,881,276 | |
| 847 | 火災保険料 | 79,270 | | 614-3 | 司祭寄付金収入 | 150,000 | |

| | | | | | | | |
|-------|----------------|-------------|---|-------|----------------|-------------|------|
| | 人件費 | 1,490,647 | | | 補助金収入 | 7,651,722 | |
| 848 | 司祭給与 | | | | | | |
| 849 | 職員給与 | | | 614-5 | 教区本部補助金 | | |
| 851 | 法定福利費 | 425,200 | | 614-6 | その他の補助金 | 7,651,722 | |
| 852 | 退職金 | | | | | | |
| 853 | 福利厚生費 | 1,065,447 | | | 分担金収入 | 0 | |
| | | | | 614-7 | 分担金収入 | | |
| | 事務運営費 | 30,258,889 | | | | | |
| 854 | 消耗品費 | 2,647,897 | | | | | |
| 855 | 消耗備品費 | 555,416 | | | | | |
| 856 | 通信費 | 1,702,786 | | | | | |
| 857 | 渉外費 | 202,662 | | | | | |
| 858 | 旅費交通費 | 8,662,299 | | | | | |
| 859 | 水道光熱費 | 2,394,811 | | | | | |
| 861 | 租税公課 | 505,527 | | | | | |
| 862 | 支払手数料 | 945 | | | | | |
| 863 | 自動車諸費 | 4,081,345 | | | | | |
| 864 | 会議費 | 150,000 | | | | | |
| 865 | 貸借料 | 1,533,795 | | | | | |
| 869 | 雑費 | 1,121,625 | | | | | |
| 867 | 賄い費 | 6,699,781 | | | | | |
| | 事業支出 | 0 | | | 事業収入 | 0 | |
| 712-1 | 駐車場事業支出 | | | 615-1 | 駐車場事業収入 | | |
| 712-2 | 施設設備利用支出 | | | 615-2 | 施設設備利用収入 | | |
| 712-3 | 宗教用品仕入支出 | | | 615-3 | 宗教用品売上収入 | | |
| | その他の支出 | 0 | | | その他の収入 | 29,383 | |
| 921 | 支払利息 | | | 911 | 受取利息 | 1,171 | |
| 922 | 雑支出 | | | 912 | 受取配当金 | | |
| 923 | 補助金支出 | | | 913 | 電話使用料収入 | | |
| 924 | 分担金支出 | | | 914 | 雑収入 | 28,212 | |
| 925 | 司教館建設資金献金支出 | | | 915 | 司教館建設資金献金収入 | | |
| | 経常支出合計 | 42,068,324 | B | | 経常収入合計 | 36,712,381 | A |
| | 固定資産取得支出 | 146,800 | | | 固定資産売却収入 | 0 | |
| 941-1 | 土地取得支出 | | | 931-1 | 土地売却収入 | | |
| 941-2 | 建物取得支出 | | | 931-2 | 建物売却収入 | | |
| 941-3 | 建物付属設備取得 | | | 931-3 | 建物付属設備売却 | | |
| 941-4 | 構築物取得支出 | | | 931-4 | 構築物売却収入 | | |
| 941-5 | 車両運搬具取得支出 | | | 931-5 | 車両運搬具売却収入 | | |
| 941-6 | 器具備品取得支出 | 146,800 | | 931-6 | 器具備品売却収入 | | |
| 941-7 | 祭儀備品取得支出 | | | 931-7 | 祭儀備品売却収入 | | |
| 941-8 | 電話加入権取得支出 | | | 931-8 | 電話加入権売却収入 | | |
| 942 | 特定預金積立金支出 | | | 932 | 特定預金取崩収入 | | |
| | その他の支出 | 10,698,731 | | | その他の収入 | 11,334,596 | |
| 943-1 | 借入金返済支出 | 104,526 | | 933-1 | 借入金収入 | 0 | |
| 943-2 | 貸付金支出 | | | 933-2 | 貸付金回収収入 | | |
| 943-3 | 預り金支出 | 3,452,300 | | 933-3 | 預り金収入 | 3,878,300 | |
| 943-4 | 立替金支出 | | | 933-4 | 立替金回収収入 | | |
| 943-5 | 仮受金支出 | | | 933-5 | 仮受金収入 | | |
| 943-6 | 仮払金(前払費用)支出 | 7,141,905 | | 933-6 | 仮払金(前払費用)収入 | 7,456,296 | |
| 943-7 | 雑損失 | | | 933-7 | その他収入 | | |
| 943-8 | その他支出 | | | | | | |
| 944 | 特別補助金支出 | | | 934 | 特別補助金収入 | 1,438,800 | パチカン |
| | 財務支出合計 D | 10,845,531 | | | 財務収入合計 C | 12,773,396 | |
| | 支出合計 F = B + D | 52,913,855 | | | 収入合計 E = A + C | 49,485,777 | |
| 442 | ※ 次期繰越金 H | 51,495,674 | | 451 | 前期繰越金 G | 54,923,752 | |
| | 合計 F + H | 104,409,529 | | | 合計 E + G | 104,409,529 | |

※次期繰越金Hは財産目録の現金預貯金合計と一致する

* 合計(F + H) = 合計(E + G)

資金収支計算書 3

宗教法人 カトリック高松司教区
全教会 合計

自 2004年 1月 1日
至 2004年12月31日

| 経常支出の部 | | | | 経常収入の部 | | | |
|--------|-------------|-------------|----|--------|-------------|-------------|----|
| コード | 科目名 | 金額 | 備考 | コード | 科目名 | 金額 | 備考 |
| | 宗教活動支出 | 117,816,272 | | | 宗教活動収入 | 143,240,269 | |
| | 宗教活動費 | 44,709,736 | | | 献金収入 | 122,369,164 | |
| 831 | 祭儀費 | 7,828,315 | | 612-1 | 月定献金収入 | 62,016,131 | |
| 832 | 行事費 | 3,023,482 | | 612-2 | ミサ献金収入 | 15,854,290 | |
| 833 | 布教教化費 | 1,686,940 | | 612-3 | 特別献金収入 | 9,266,628 | |
| 834 | 教育養成費 | 555,411 | | 612-4 | 特別事業献金収入 | 13,684,756 | |
| 835 | 諸会費 | 1,195,120 | | 612-5 | 臨時献金収入 | 5,720,959 | |
| 836 | 図書資料費 | 1,033,858 | | 612-6 | 祭儀収入 | 13,536,100 | |
| 837 | 出版刊行費 | 854,305 | | 612-7 | 教区維持献金収入 | 970,300 | |
| 838 | 教区維持費 | 13,733,695 | | 612-8 | 本部費 | 0 | |
| 841 | 諸活動費 | 7,290,649 | | 612-9 | 墓地等使用料収入 | 1,320,000 | |
| 842 | 一般・特別寄付金 | 7,507,961 | | | | | |
| | 指定献金支出 | 5,601,555 | | | 指定献金収入 | 5,263,833 | |
| 843-1 | 児童福祉献金 | 565,407 | | 613-1 | 児童福祉献金 | 554,957 | |
| 843-2 | 広報の日献金 | 343,545 | | 613-2 | 広報の日献金 | 337,245 | |
| 843-3 | 世界難民移住移動者の日 | 353,052 | | 613-3 | 世界難民移住移動者の日 | 342,642 | |
| 843-4 | 世界宣教の日献金 | 411,147 | | 613-4 | 世界宣教の日献金 | 405,797 | |
| 843-5 | 宣教地司祭育成献金 | 363,184 | | 613-5 | 宣教地司祭育成献金 | 345,184 | |
| 843-6 | 聖ペトロ聖座献金 | 360,091 | | 613-6 | 聖ペトロ聖座献金 | 351,691 | |
| 843-7 | 愛の運動献金 | 1,085,763 | | 613-7 | 愛の運動献金 | 959,442 | |
| 843-8 | 一粒会献金 | 1,795,176 | | 613-8 | 一粒会献金 | 1,763,640 | |
| 843-9 | 聖地献金 | 209,990 | | 613-9 | 聖地献金 | 203,235 | |
| 843-10 | 教区の日献金 | 114,200 | | 613-10 | 教区の日献金 | 0 | |
| | 維持管理費 | 13,366,565 | | 613-11 | 墓地管理収入 | 1,158,683 | |
| 844 | 施設設備修繕費 | 10,606,849 | | | | | |
| 845 | 備品修繕費 | 706,291 | | | 寄付金収入 | 10,702,989 | |
| 846 | 墓地管理費 | 455,000 | | 614-1 | 特別寄付金収入 | 6,669,024 | |
| 847 | 火災保険料 | 1,598,425 | | 614-2 | 一般寄付金収入 | 3,813,965 | |
| | | | | 614-3 | 司祭寄付金収入 | 220,000 | |
| | 人件費 | 22,283,941 | | | 補助金収入 | 3,673,600 | |
| 848 | 司祭給与 | 4,729,252 | | | 教区本部補助金 | 0 | |
| 849 | 職員給与 | 16,223,475 | | 614-5 | その他の補助金 | 3,673,600 | |
| 851 | 法定福利費 | 1,079,654 | | 614-6 | | | |
| 852 | 退職金 | 0 | | | 分担金収入 | 72,000 | |
| 853 | 福利厚生費 | 251,560 | | 614-7 | 分担金収入 | 72,000 | |
| | 事務運営費 | 31,854,475 | | | | | |
| 854 | 消耗品費 | 2,580,882 | | | | | |
| 855 | 消耗備品費 | 1,059,959 | | | | | |
| 856 | 通信費 | 3,575,337 | | | | | |
| 857 | 渉外費 | 2,869,456 | | | | | |
| 858 | 旅費交通費 | 803,601 | | | | | |
| 859 | 水道光熱費 | 13,225,624 | | | | | |
| 861 | 租税公課 | 1,466,370 | | | | | |
| 862 | 支払手数料 | 138,555 | | | | | |
| 863 | 自動車諸費 | 2,672,063 | | | | | |
| 864 | 会議費 | 132,399 | | | | | |
| 865 | 貸借料 | 1,633,416 | | | | | |
| 869 | 雑費 | 1,696,813 | | | | | |
| | 事業支出 | 5,477,754 | | | 事業収入 | 12,948,278 | |
| 712-1 | 駐車場事業支出 | 150,000 | | 615-1 | 駐車場事業収入 | 6,250,500 | |
| 712-2 | 施設設備利用支出 | 0 | | 615-2 | 施設設備利用収入 | 814,222 | |
| 712-3 | 宗教用品仕入支出 | 5,327,754 | | 615-3 | 宗教用品売上収入 | 5,883,556 | |
| | その他の支出 | 19,002,074 | | | その他の収入 | 3,414,719 | |
| 921 | 支払利息 | 0 | | 911 | 受取利息 | 46,133 | |
| 922 | 雑支出 | 22,429 | | 912 | 受取配当金 | 50,330 | |
| 923 | 補助金支出 | 0 | | 913 | 電話使用料収入 | 9,680 | |
| 924 | 分担金支出 | 18,979,645 | | 914 | 雑収入 | 3,308,576 | |
| 925 | 司教館建設資金献金支出 | 0 | | 915 | 司教館建設資金献金収入 | 0 | |
| | 経常支出合計 | 142,296,100 | B | | 経常収入合計 | 159,603,266 | A |

| | | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| | 固定資産取得支出 | 36,809,948 | | 固定資産売却収入 | 0 |
| 941-1 | 土地取得支出 | 22,000,000 | 931-1 | 土地売却収入 | 0 |
| 941-2 | 建物取得支出 | 5,075,700 | 931-2 | 建物売却収入 | 0 |
| 941-3 | 建物付属設備取得 | 3,050,000 | 931-3 | 建物付属設備売却 | 0 |
| 941-4 | 構築物取得支出 | 928,200 | 931-4 | 構築物売却収入 | 0 |
| 941-5 | 車両運搬具取得支出 | 0 | 931-5 | 車両運搬具売却収入 | 0 |
| 941-6 | 器具備品取得支出 | 5,521,048 | 931-6 | 器具備品売却収入 | 0 |
| 941-7 | 祭儀備品取得支出 | 235,000 | 931-7 | 祭儀備品売却収入 | 0 |
| 941-8 | 電話加入権取得支出 | 0 | 931-8 | 電話加入権売却収入 | 0 |
| 942 | 特定預金積立金支出 | 9,865,765 | 932 | 特定預金取崩収入 | 17,763,906 |
| | その他の支出 | 16,303,335 | | その他の収入 | 11,140,540 |
| 943-1 | 借入金返済支出 | 9,670,000 | 933-1 | 借入金収入 | 6,000,000 |
| 943-2 | 貸付金支出 | 0 | 933-2 | 貸付金回収収入 | 0 |
| 943-3 | 預り金支出 | 5,068,172 | 933-3 | 預り金収入 | 4,053,593 |
| 943-4 | 立替金支出 | 681,642 | 933-4 | 立替金回収収入 | 535,570 |
| 943-5 | 仮受金支出 | 603,401 | 933-5 | 仮受金収入 | 301,377 |
| 943-6 | 仮払金(前払費用)支出 | 280,120 | 933-6 | 仮払金(前払費用)収入 | 250,000 |
| 943-7 | 雑損失 | 0 | | | |
| 943-8 | その他支出 | 0 | | | |
| 944 | 特別補助金支出 | 0 | 934 | 特別補助金収入 | 10,000,000 |
| | 財務支出合計 D | 62,979,048 | | 財務収入合計 C | 38,904,446 |
| | 支出合計 F=B+D | 205,275,148 | | 収入合計 E=A+C | 198,507,712 |
| 442 | *次期繰越金 H | 109,217,977 | 451 | 前期繰越金 G | 115,985,413 |
| | 合計 F+H | 314,493,125 | | 合計 E+G | 314,493,125 |

＝カトリック高松司教区現勢報告＝

2004年12月31日現在

1. 概況

信者総数 5,285 人
(前年比 122 人減)

| | 香川県 | 愛媛県 | 高知県 | 徳島県 | 合計 |
|--------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 面積 | 1,876.16 Km ² | 5,676.76 Km ² | 7,104.87 Km ² | 4,145.46 Km ² | 18,803.25 Km ² |
| 人口 | 1,019,833 人 | 1,473,341 人 | 806,289 人 | 816,163 人 | 4,115,626 人 |
| 前年度信徒数 | 1,566 人 | 2,102 人 | 839 人 | 733 人 | 5,240 人 |
| 信徒 | 1,527 人 | 2,031 人 | 852 人 | 724 人 | 5,134 人 |
| 司教・司祭 | 18 人 | 19 人 | 7 人 | 4 人 | 48 人 |
| 助祭 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 修道士 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 修道女 | 42 人 | 29 人 | 9 人 | 1 人 | 81 人 |
| 神学生 | 22 人 | 人 | 人 | 人 | 22 人 |
| 総数 | 1,609 人 | 2,079 人 | 868 人 | 729 人 | 5,285 人 |
| 前年度総数 | 1,655 人 | 2,153 人 | 860 人 | 739 人 | 5,407 人 |

2. 人員構成

| | |
|-------------|------|
| 司教 | 2 人 |
| 司祭 | 17 人 |
| 重司 | 11 人 |
| ドミニコ会 | 10 人 |
| オブレート会 | 6 人 |
| スペイン外国直教会 | 1 人 |
| イエズス会 | 1 人 |
| ローマ教区 | 1 人 |
| 司祭・修道司祭小計 | 29 人 |
| 助祭 | 人 |
| 神学生 | 22 人 |
| 修道士 | 人 |
| 修道女小計 | 53 人 |
| 松山修道院 | 13 人 |
| 北条修道院 | 12 人 |
| 新居浜修道院 | 4 人 |
| 坂出修道院 | 20 人 |
| 小豆島修道院 | 4 人 |
| 聖心の布教姉妹会 | 7 人 |
| 聖母被昇天修道会 | 5 人 |
| 神の母マリア修道院 | 13 人 |
| オタワ愛徳修道女会 | 2 人 |
| 大聖ヨゼフ直教修道女会 | 1 人 |
| 修道女小計 | 81 人 |

3. 諸施設

| | |
|-------------|---------|
| (1) 教会 | 26 所 |
| 巡回教会 | 3 所 |
| 布教所 | 1 所 |
| (2) 修道院 | 2 所 |
| 男子修道院 | 2 所 |
| 女子修道院 | 10 所 |
| (3) 教育施設 | 22 人 |
| 教区立国際直教神学院 | 472 人 |
| 聖カタリナ女子大学 | 402 人 |
| 愛光学園高等学校 | 724 人 |
| 聖カタリナ女子高等学校 | 1,470 人 |
| 愛光学園中学校 | 597 人 |
| 幼稚園(23園) | 3,082 人 |
| (4) 社会福祉施設 | 196 床 |
| 聖マルチン病院 | 50 人 |
| 聖マルチンの園 | 55 人 |
| 聖マルチンの家 | 50 人 |
| マリアの園 | 75 人 |
| 聖園天使園 | 28 人 |
| 聖園ベビーホーム | 1,080 人 |
| 保育所(2園) | |

4. 教区内組織

- ・教区顧問会
- ・地区長会
- ・司祭評議会
- ・経済問題評議会
- ・修道女連盟
- ・カトリック幼稚園連盟
- ・教区信徒従事職協議会
- ・地区 # (4 県)
- ・小教区 # (26)
- ・レジオ・マリエ
- ・グインセンシオ会
- ・カトリック看護協会
- ・カトリック医師会
- ・カトリック・ホーイスカウト指導者協議会
- ・教会学校教師会
- ・カトリック高校生会
- ・カトリック・エンカウンター
- ・正義と平和協議会
- ・カトリック女性連合会
- ・共助組合
- ・結婚互助会

5. 信徒数動向

| 教会名 | 信徒数 | | | | 洗礼 | | 転出入 | | 死亡 | 堅信 | 初聖体 | 求道者 | 教会学校 | | ミサ参加 | | | 結婚 | | | |
|------|-------|-------|-------|-----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|------|----|-------|-------|-------|----|---|----|-----|
| | 男性 | 女性 | 総数 | 不明 | 幼 | 成 | 入 | 出 | | | | | 信 | 未 | 主日 | 復活 | 降誕 | ① | ② | ③ | ④ |
| 桜町 | 306 | 502 | 808 | 56 | 11 | 4 | 8 | 13 | 6 | 12 | 13 | 7 | 19 | 0 | 300 | 450 | 480 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 番町 | 69 | 115 | 184 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 | 1 | 14 | 0 | 50 | 70 | 140 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 小豆島 | 25 | 34 | 59 | 7 | 0 | 20 | 0 | 0 | 16 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 14 | 20 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 三本松 | 22 | 27 | 49 | 2 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 9 | 1 | 0 | 47 | 52 | 67 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 坂出 | 67 | 131 | 198 | 0 | 0 | 3 | 6 | 23 | 2 | 3 | 5 | 17 | 4 | 6 | 130 | 200 | 250 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 丸亀 | 32 | 96 | 128 | 0 | 1 | 0 | 5 | 0 | 1 | 3 | 3 | 11 | 13 | 0 | 35 | 45 | 63 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 銀音寺 | 6 | 25 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 15 | 27 | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 善通寺 | 21 | 49 | 70 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 7 | 7 | 15 | 30 | 90 | 0 | 0 | 0 | 80 |
| 香川県計 | 548 | 979 | 1,527 | 65 | 12 | 29 | 22 | 44 | 27 | 20 | 22 | 60 | 58 | 13 | 606 | 894 | 1,190 | 0 | 2 | 1 | 98 |
| 山松 | 343 | 675 | 1,018 | 4 | 14 | 11 | 6 | 13 | 8 | 7 | 6 | 20 | 41 | 0 | 275 | 560 | 670 | 0 | 3 | 0 | 6 |
| 道後 | 53 | 106 | 159 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 50 | 80 | 150 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 今治 | 130 | 221 | 351 | 194 | 2 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 7 | 45 | 100 | 275 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 新居 | 89 | 134 | 223 | 3 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 0 | 6 | 6 | 9 | 0 | 45 | 100 | 120 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 西条 | 15 | 39 | 54 | 12 | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 3 | 9 | 14 | 75 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 郡中 | 18 | 43 | 61 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 6 | 4 | 13 | 2 | 30 | 50 | 120 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 八幡浜 | 29 | 45 | 74 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 5 | 2 | 2 | 0 | 20 | 40 | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 宇和島 | 23 | 52 | 75 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 30 | 120 | 130 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 伊予三島 | 7 | 9 | 16 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 15 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 愛媛県計 | 707 | 1,324 | 2,031 | 216 | 19 | 16 | 25 | 20 | 19 | 12 | 27 | 44 | 69 | 18 | 513 | 1,140 | 1,582 | 0 | 5 | 1 | 21 |
| 中島町 | 150 | 269 | 419 | 7 | 4 | 2 | 10 | 2 | 7 | 2 | 2 | 7 | 13 | 0 | 170 | 360 | 380 | 0 | 0 | 3 | 42 |
| 江の口 | 80 | 117 | 197 | 0 | 2 | 0 | 1 | 8 | 2 | 2 | 4 | 0 | 23 | 21 | 50 | 110 | 130 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 安芸 | 10 | 29 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 16 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 赤岡 | 10 | 23 | 33 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 15 | 30 | 68 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中村 | 38 | 126 | 164 | 11 | 3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 18 | 0 | 12 | 65 | 75 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 高知県計 | 288 | 564 | 852 | 18 | 9 | 3 | 14 | 12 | 11 | 5 | 10 | 7 | 54 | 21 | 254 | 581 | 671 | 0 | 0 | 3 | 43 |
| 徳島 | 142 | 278 | 420 | 0 | 6 | 3 | 5 | 4 | 4 | 3 | 0 | 4 | 26 | 6 | 80 | 287 | 395 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 鳴門 | 72 | 110 | 182 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 13 | 0 | 40 | 70 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 阿南 | 35 | 52 | 87 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 15 | 25 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 池田 | 12 | 23 | 35 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 8 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 徳島県計 | 261 | 463 | 724 | 2 | 7 | 5 | 8 | 9 | 7 | 4 | 4 | 10 | 39 | 6 | 140 | 390 | 607 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 教区総計 | 1,804 | 3,330 | 5,134 | 301 | 47 | 53 | 69 | 85 | 64 | 41 | 63 | 121 | 220 | 58 | 1,513 | 3,005 | 4,050 | | 8 | 5 | 166 |
| 前年度 | 1,866 | 3,374 | 5,240 | 315 | 34 | 44 | 60 | 146 | 72 | 47 | 52 | 143 | 215 | 44 | 1,420 | 2,803 | 3,942 | 1 | | 20 | 217 |

【結婚】 ①=カトリック同士 ②=カトリックと他のキリスト教 ③=カトリックと他の宗教 ④=非カトリック同士

二〇〇四年度決算を公表するにあたって

二〇〇五年五月三十一日

主任神父様
信徒会長様
信徒の皆様

カトリック高松司教区

司教 溝部 脩

司教が、この文を書くことの抵抗を感じるが、昨年半年事務局長の仕事を兼務したこともあり、また、半分以上教区会計に足を入れたので、二〇〇四年度決算を公表するにあたって、幾つかの留意点を掲げたい。

1 教区事務会計、並びに教区基金会計について

今年度の収支バランスは悪くなく、繰越金を計上している。しかし、これは司教着座、佐々木光雄師葬儀、百周年行事などの行事が目白押しであったから出た収益である。教区本部の経常費そのものが健全であるとは言えない。ただし、小教区の分担金が規定どおりに提出されたのは好ましい傾向である。教区基金会計については、目的に添って今後、勘定科目の整理、その他事務的な問題が残されている。教区活性化基金として蓄えていく必要がある。

2 指定献金について

一時預かり金としての性格であり、

収支はゼロで終了するはずのものである。中央協議会への送金額がばらばらであり、過年の残金があるなど事務処理上の問題がある。今後これを処理していく方向で扱う。一粒会献金は幅広い解釈のもとに活用する方法を考える。

3 神学院会計、並びに教区司祭会計について

教区司祭会計は司祭同志の相互扶助の目的で集められたものであり、個人の財産という性格を有する。ただし、それ以外の目的のものがあるれば、それは教区本部会計に入れられるはずのものである。今後これについても整理する必要がある。神学院会計に関しては、今後報告を求め、詳細を作成する必要がある。

4 全小教区会計について

教区全体は黒字であるが、ある小教区は極度に貧しい。相互扶助の精神が求められる。情報開示は大切であり、経済問題に関しても同様である。決算では、年間行事予定に沿って組まれた予算をどのように実行したかを調べないといけない。予算を組むにあたって、教区が何をしたいかを明確に打ち出すことが大切である。

ごあんない

高松教区信徒研修会

第32回高松教区信徒研修会を開催します。みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時 9月3日(土)18:00~4日(日)14:30
 場所 カトリック中島町教会 高知市鷹匠町2-1-33
 研修会講話 メインテーマ「家庭と社会そして宗教」
 講師 森 一弘 司教
 参加申込み先 カトリック中島町教会・Tel 088-872-3658 Fax 088-872-3653
 宿泊先 高知会館・・・Tel 088-823-7123 Fax 088-823-7127
 グリーン会館・・・Tel 088-825-2701 Fax 088-825-2703
 教会のテレジア館・・・中島町教会に申し込んでください。

(恐れ入りますが、宿泊は各小教区で予約してください。)

9月3日(土)午後、研修会に先立って、ケルン大会に参加した青年の報告会も考慮中です。

高知地区信徒使徒職協議会
 会長 岡副 俊雄

2005高松教区民のつどい

みなさま、9月19日(月・敬老の日)は松山でお会いしましょう。

溝部脩司教様が高松教区に着座されて約1年になります。その間、「高松教区の一致」を目指して、私たちのために日夜働いてくださっています。

その一環としてこの度、四国の信徒の皆様が一堂に会して司教様のお話を聞き、対話し、信徒の催事をおして分ち合いを深めることを目的に下記のような会を開催することになりました。

この会は従来の「教区の日」に替わるものです。みなさまのご協力を得て新しい出発をしたいと考えています。

会のプログラム等は後日ご案内いたします。みなさまのご出席と催事への積極的なご参加をお待ちしています。

記

名称 「2005高松教区民のつどい」
 テーマ 「教区の一致を目指して」
 講師 溝部 脩 司教
 日時 2005年9月19日(月・敬老の日)10:00~16:00
 場所 聖カタリナ女子高等学校(松山市)
 主催 高松教区信徒使徒職協議会
 主管 愛媛地区信徒使徒職協議会

前夜祭を、9月18日(日)夕刻、道後教会にて開催するよう調整中です。

愛媛地区信徒使徒職協議会
 実行委員会

編集後記

「家族信者」ということばを、四国に来て初めて聞きました。長崎の信者はほとんど「家族信者」です。そして信仰生活は日常生活の中に溶け込んでいます。

このことばは、高松教区と長崎教区の信者の違いをよく表しているのではないかと思います。信仰は全人的な行為ですから、家族のあるいは共同体的な側面があるし、また必要でもあると思います。しかし信仰が十分に成熟していないと、その集団から離れるとき挫折してしまう危険があります。

逆に、自身で決断した信仰は熱が冷めるとき、あるいはいつも養われていないと危険に陥るのではないか。教区報が横のつながりを強める力になれたらと思います。聖霊降臨祭には司教教書が配布されました。本号には、教区会計決算書と司教のコメントが載っています。教区民が共通の関心を持ち、共通の目標に歩み始めるとき、強力な宣教共同体に変身できるのではないのでしょうか。

(教区事務局長 浜口末雄)